

Market Watching

発表日: 2020年7月13日(月)

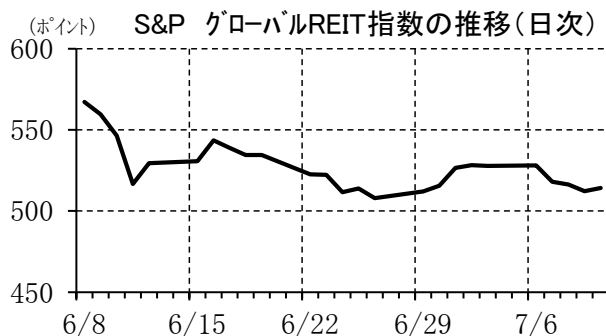
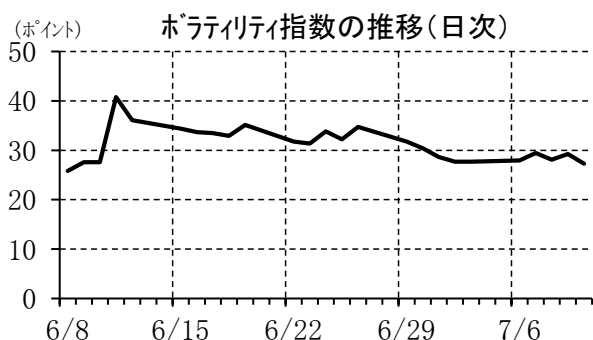
アフターコロナの景気回復力不足が露呈する中国(マーケットウィークリー)
～ロックダウンでギャップが生じた分だけ回復力も鈍る～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (TEL: 03-5221-4521)

【先週の市場動向】

先週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
7月6日(月)	ユーロ: 小売売上高 (5月)	+17.8%	+15.0%	▲11.7%	前月比
	米国: ISM非製造業景気指数 (6月)	57.1	48.2	45.4	ポイント
7月7日(火)	日本: 毎月勤労統計 (5月)・現金給与総額	▲2.1%	▲0.9%	▲0.7%	前年比
	日本: 家計調査 (5月)・全世帯実質消費支出	▲16.2%	▲12.3%	▲11.1%	前年比
	日本: 景気動向指数 (5月)・CI一致指数	▲5.5pt	▲5.5pt	▲8.7pt	前月差
	日本: CI先行指数	+1.6pt	+1.6pt	▲7.4t	前月差
	豪州: 金融政策委員会	0.25%	0.25%	0.25%	RBA政策金利誘導目標
7月8日(水)	ドイツ: 鉱工業生産 (5月)	+7.8%	+10.5%	▲17.9%	前月比
7月8日(水)	日本: 国際収支統計 (5月)・経常収支	+11,768	+10,836	+2,627	億円、原数値
	日本: 景気ウォッチャー調査 (6月)・先行き判断DI	44.0	39.3	36.5	
7月9日(木)	日本: 機械受注統計 (5月)・船電除く民需	▲16.3%	▲17.1%	▲17.7%	前年比
	中国: 消費者物価指数 (6月)	+2.5%	+2.6%	+2.4%	前年比
	米国: 新規失業保険申請件数 (7/4終了週)	1,314	—	1,427	千件
7月10日(金)	—	—	—	—	—
7月11日(土)	—	—	—	—	—
7月12日(日)	—	—	—	—	—



主要市場の動向

	直近値	変化			移動平均値		
		1週前比	1月前比	1年前比	25日	75日	200日
10年債利回り							
米国	0.645	▲2.5	▲1.4	▲167.5	0.176	0.189	0.923
日本	0.015	▲0.5	+0.0	+14.5	0.016	0.002	-0.039
ドイツ	-0.465	▲3.3	▲13.4	▲15.8	-0.422	-0.440	-0.395
豪州	0.858	▲4.6	▲16.1	▲49.5	0.913	0.897	1.013
株価							
NYダウ	26075.30	+1.0	▲3.4	▲2.9	25996	24637	26254
日経平均	22290.81	▲0.1	▲3.6	+3.5	22454	20849	21910
ユーロSTOXX50	3296.22	+0.1	+0.1	▲5.9	3257	3024	3359
上海総合	3383.32	+7.3	+14.9	+16.1	3054	2913	2936
為替相場							
ドル/円	106.93	▲0.5	▲0.2	▲1.4	107.29	107.53	108.40
ユーロ/円	120.86	▲0.0	▲0.8	▲1.0	120.91	118.73	119.77
豪ドル/円	74.32	▲0.4	▲0.9	▲1.5	74.20	71.04	72.38
ユーロ/ドル	1.13	+0.5	▲0.7	+0.4	1.127	1.104	1.105
商品市況							
WTI	40.55	▲0.2	+2.4	▲32.9	39.19	29.12	43.53
金	1801.9	+0.7	+5.2	+27.6	1762	1724	1604

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。

先週 (7/6~7/10) の金融市場は、経済指標などファンダメンタルズ面の材料が不足する中、新型コロナウイルスの動向に一喜一憂して方向感に欠ける展開が続いた。米国や東京などで新規感染者数が過去最高を更新するなど、依然として沈静化が見えない一方で、経済活動に制限をかけることに消極的な政府の姿勢が、景気再失速の懸念を和らげている。

今週のマーケットは、日欧で金融政策の決定会合が行われるほか、米国や中国で注目度の高い経済指標の発表が相次ぐ。なかでも、4-6月期の中国のGDPは、経済活動再開後の景気回復の力をはかるうえで注目度が高い。ロックダウン明けの中国の経済指標を振り返ると、再開直後は反動もあって大きく伸びたものの、足元にかけては伸び悩みを見せている。背景には、中国以外の国々で新型コロナウイルスの感染者が増加して経済活動が抑制されたことから、輸出の回復が遅れたこともあるが、個人消費の回復が限定的なものにとどまっていることのインパクトが大きい。中国の個人消費の減速傾向は新型コロナウイルス蔓延以前から続いており、足元でもそのトレンドから脱した感はない。内外需の回復の遅れにより、ロックダウンによって急激に悪化した雇用・所得環境の改善も限定的なものにとどまっている。むしろ、雇用・所得環境が悪化した分、内需拡大の力はコロナ以前よりも弱くなっていることが、露呈しつつある。こうした中国のコロナ後の動きは、おそらくそのまま他の国々にも当てはまるはずだ。経済活動を再開しても、コロナによって悪化した部分を早期に埋めない限り、その後の景気の拡大スピードは落ちることになる。給付金や失業補償などの各種政策によるフォローが切れれば、尚更となる。

【今週のマーケット環境】

今週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	注目度	コンセンサス	前回	備考
7月13日(月)	—				
7月14日(火)	中国：貿易統計(6月)・輸出 ・輸入	★★★★ ★★★★	▲2.0% ▲8.8%	▲3.3% ▲16.7%	前年比 前年比
	英国：鉱工業生産(5月)	★	+6.0%	▲20.3%	前月比
	ユーロ：鉱工業生産(5月)	★★	+15.0%	▲17.1%	前月比
	ドイツ：ZEW景況感調査(7月)・期待指数	★	+60.0	+63.4	ポイント
	米国：消費者物価指数(6月)・総合 ・コア	★ ★	+0.6% +1.1%	+0.1% +1.2%	前年比 前年比
7月15日(水)	日本：日銀金融政策決定会合・政策金利 ・10年債利回り操作目標 ・日銀総裁記者会見	★ ★ ★★★★	▲0.10% 0.00%	▲0.10% 0.00%	日銀当座預金残高金利 10年物国債利回り
	米国：NY連銀製造業景気指数(7月)	★★★★	+5.5	0.0	ポイント
	米国：鉱工業生産指数(6月)	★	+4.4%	+1.4%	前月比
	カナダ：金融政策委員会	★	0.25%	0.25%	翌日物貸出金利
7月16日(木)	中国：実質GDP(1-3月)	★★★★	+2.5%	▲6.8%	前年比
	中国：鉱工業生産(5月)	★★★★	+4.8%	+4.4%	前年比
	中国：小売売上高(5月)	★★★★	0.0%	▲2.8%	前年比
	中国：固定資産投資(5月)	★	▲3.4%	▲6.3%	年初来前年比
	インドネシア：金融政策決定会合	★	4.00%	4.25%	7日物リバースレボ金利
	英国：失業率(6月)・失業保険受給ベース		—	7.8%	
	ユーロ：ECB理事会・ECB主要政策金利 ・ECB預金ファシリティ金利 ・カガルト総裁記者会見	★★ ★★ ★★★★	0.00% ▲0.50%	0.00% ▲0.50%	
	米国：フィラデルフィア連銀製造業景況感指数(7月)	★★★★	+17.5	+27.5	ポイント
	米国：小売売上高(6月)・全体 ・除自動車	★★★★ ★★★★	+5.6% +5.5%	+17.7% +12.4%	前月比 前月比
	米国：新規失業保険申請件数(7/11終了週)	★★	1,250	1,314	千件
7月17日(金)	米国：住宅着工件数(6月)	★★★★	118.0	97.4	万件
	米国：ミシガン大学消費者信頼感指数(7月速報値)	★★★★	80.0	78.1	ポイント
7月18日(土)	—				
7月19日(日)	—				

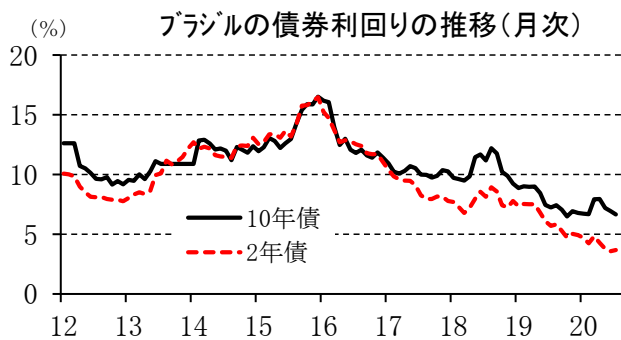
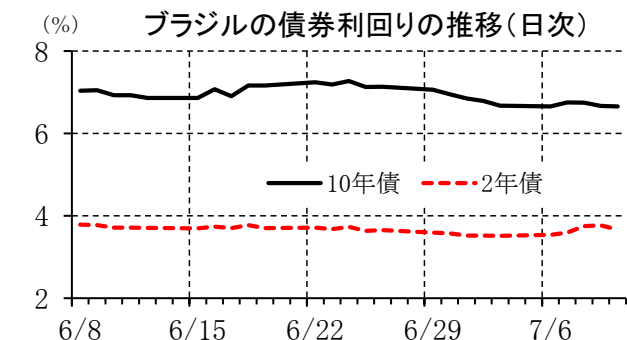
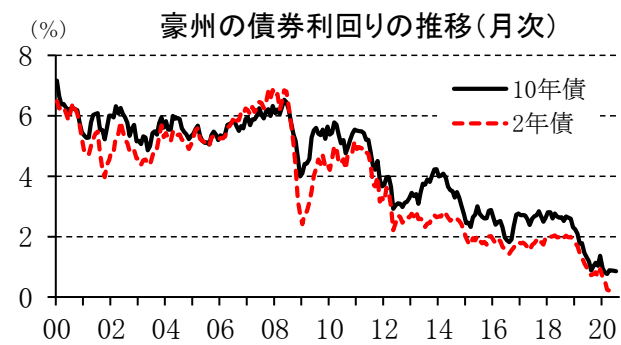
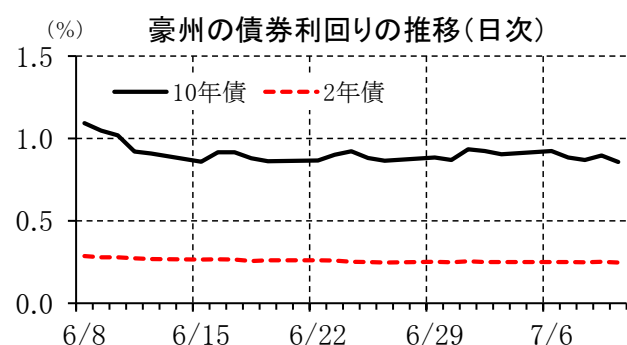
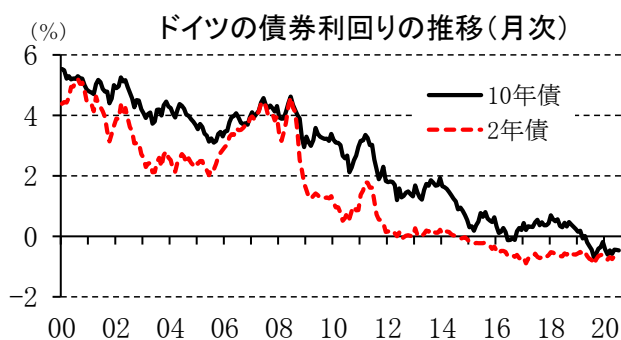
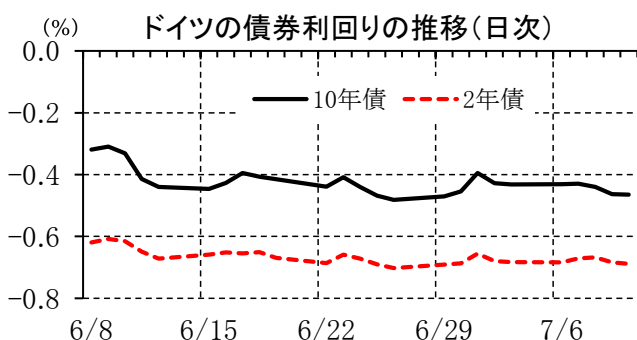
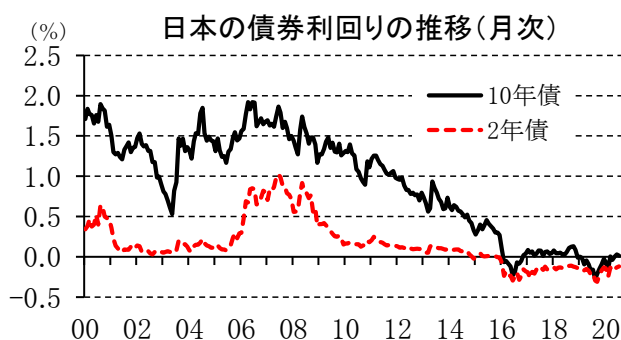
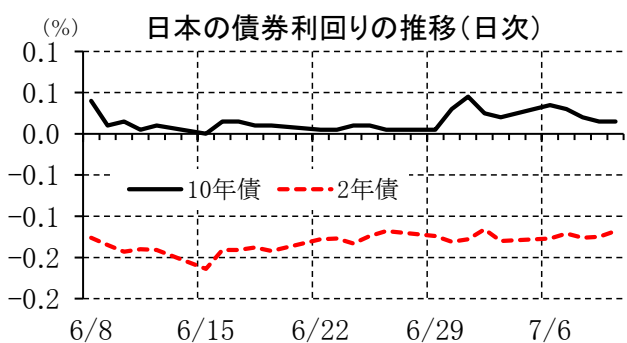
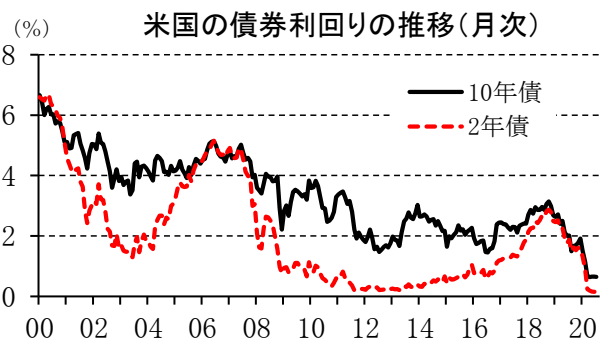
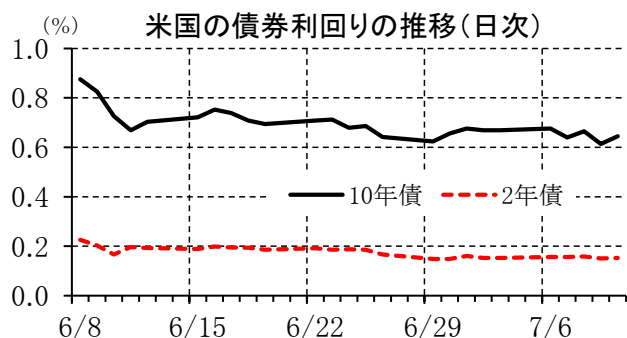
(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

その他の注目イベント・材料

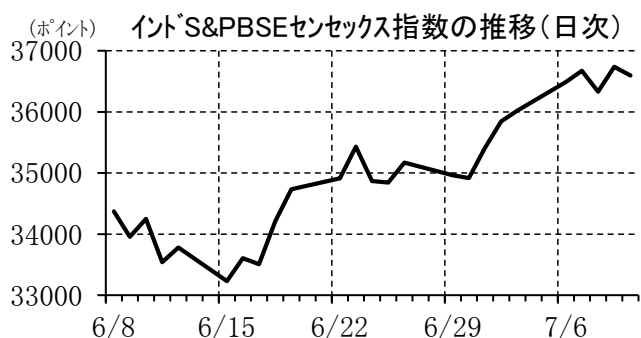
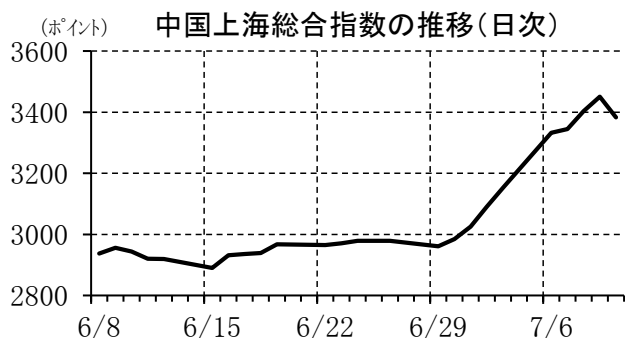
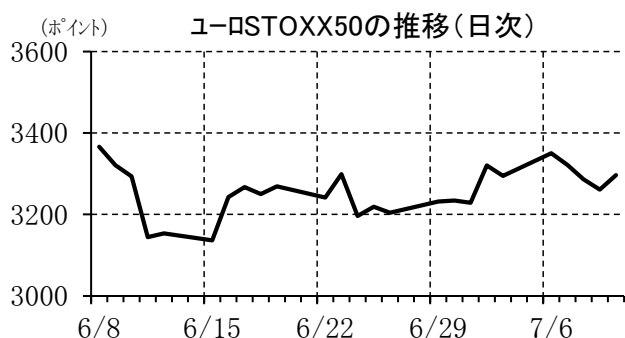
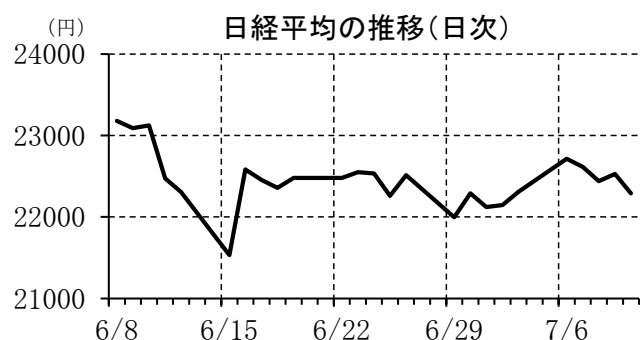
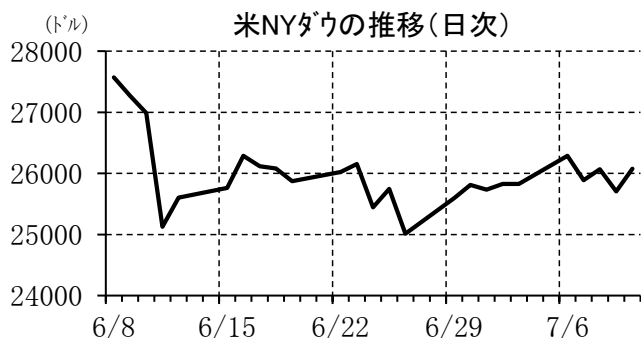
発表日	イベント	注目度	備考
7月13日(月)	英国：ペイリ-BOE総裁講演 米国：NY連銀総裁講演	★ ★	
7月14日(火)	—		
7月15日(水)	日本：訪日外客数(6月) 米国：ペーシエブック	★ ★★★★	
7月16日(木)	英国：ペイリ-BOE総裁講演 米国：NY連銀総裁講演	★ ★	
7月17日(金)	EU：臨時欧州首脳会議(～7/18) ユーロ：デギントスECB副総裁講演	★★ ★	
7月18日(土)	G20財務相・中銀総裁会議	★★★★	
7月19日(日)	—		

(注) 各種報道等による。注目度は筆者。

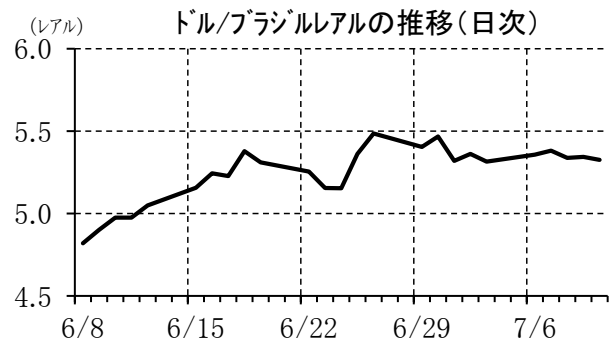
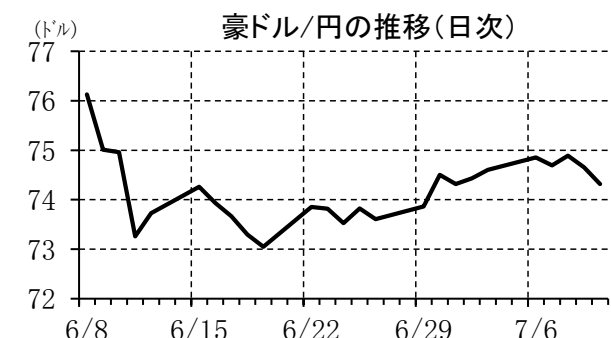
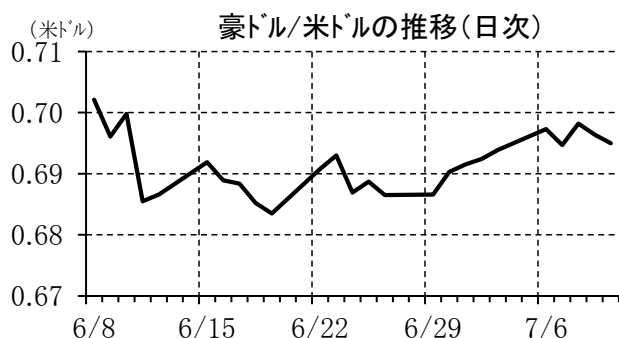
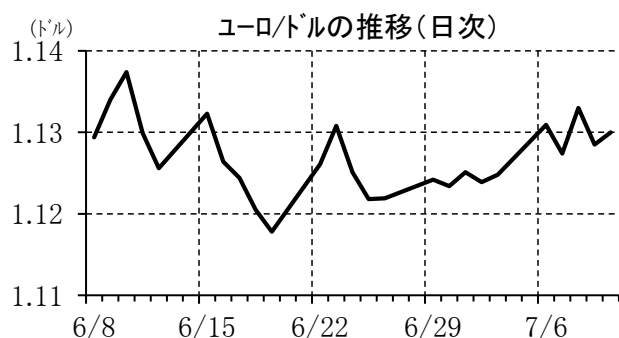
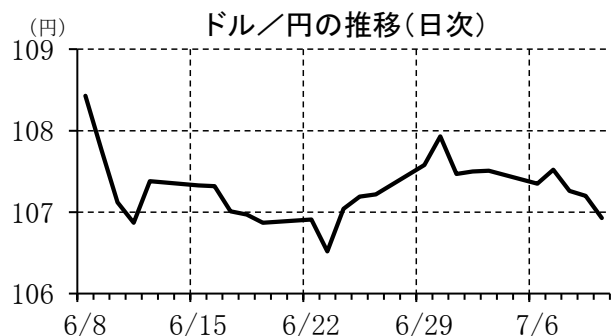
【債券利回り】



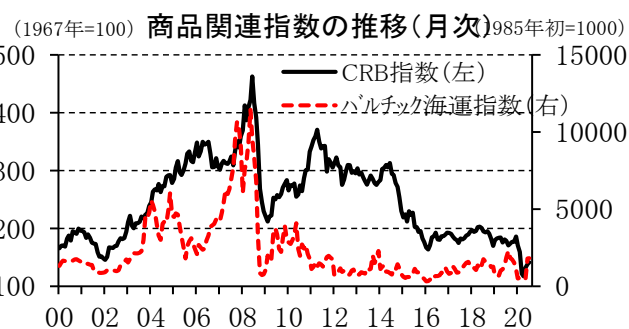
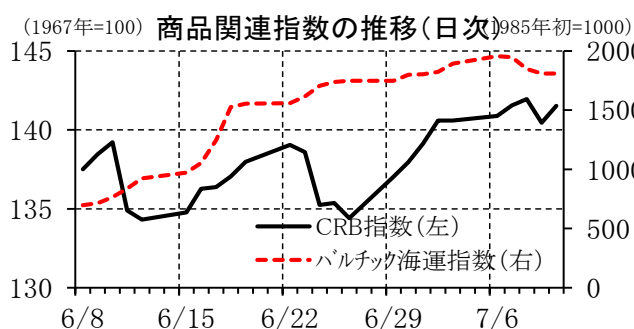
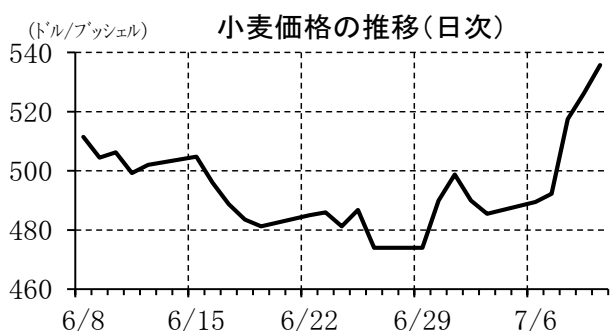
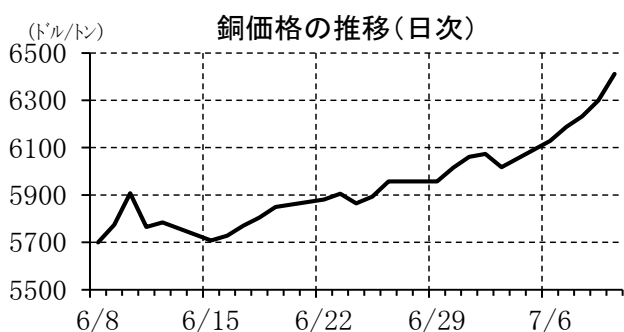
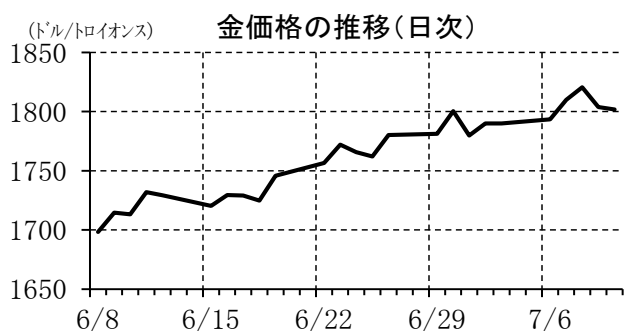
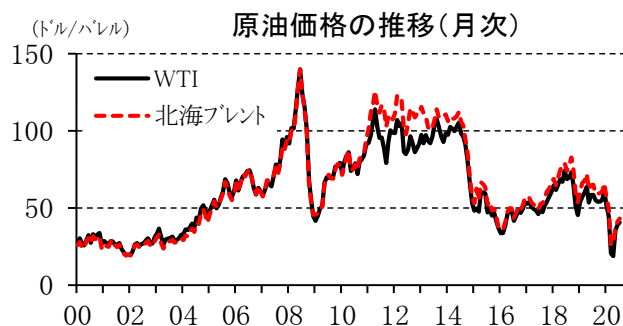
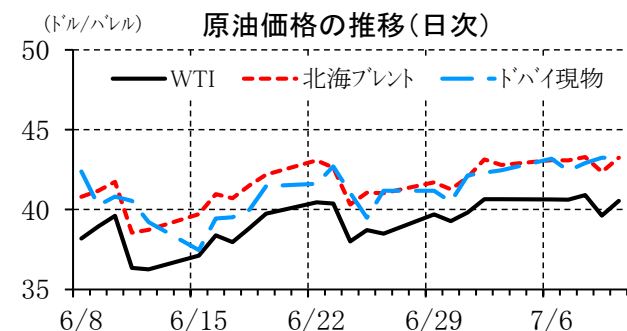
【株価指数】



【為替相場】



【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。